

# 営農情報

平成 29 年 1 月

## 佐々木順一さんの牛が最優秀賞 第6回いわて南牛枝肉研究会

JAいわて平泉は12月7日、第6回いわて南牛枝肉研究会を東京食肉市場(株)で開きました。厳選された雌牛、去勢牛合わせて40頭が出品され、最優秀賞に佐々木順一さん(花泉)の去勢牛が輝きました。佐々木さんの出品牛は、体形が良く枝作り、肉質共に優れていると高い評価をされ単価は3131円の最高値となりました。全体の上物率は89.1%、販売単価は2672円と高単価の販売となりいわて南牛のレベルの高さをうかがわせました。

その他の入賞者は次の通り。(敬称略)

▽優秀賞=二階堂俊(花泉)、岩渕克佳(室根)、千葉幹雄(藤沢)▽優良賞=(有)小室牧場(平泉)、佐藤良(花泉)、佐藤和弘(一関)



表彰をうける佐々木順一さん㊦

## 農林業・農村社会の発展に貢献した5組を表彰 一関地方農林業振興大会



受賞者5組による事例発表が行われました

一関地方農林業振興協議会(会長:勝部修一関市長)は12月7日、2016年度一関地方農林業振興大会を東山町で開きました。農林業従事者や関係者約270人が出席。一関地方の農林業と農村社会の発展に寄与している3部門5組の方々を表彰されたほか、受賞者による事例発表が行われ、参加者は地域農林業の振興発展に決意を新たにしました。

受賞者は次の通り。(敬称略)

▽担い手部門賞=佐藤良彦(花泉)、藤野寿美(千厩)、農事組合法人門崎ファーム(川崎)▽いきいきむらづくり部門賞=上通集落(花泉)▽明日を拓く担い手部門賞=村上真(室根)

近年、全国で野生動物による農作物や生態系への被害が増加しています。中山間地の人口減少や農地・森林の放棄、ペットの飼育放棄などにより、イノシシ、シカ、ハクビシンなどが全国的に増加と分布拡大を続けているのが原因とされています。

### 動物被害を防ぐためには?

#### ◎被害を出している動物の確認

足跡、糞、食痕などから動物を特定し対象動物の習性に合わせた対策を行きましょう。

#### ◎動物の侵入を防ぐために、田畑や敷地を柵で囲う

電気柵、ネット柵、ワイヤー・金属柵などを使用し、柵の下などの隙間をきちんとふさぎ、柵周辺の草刈りをするなど環境整備をして設置すると効果的です。設置後も点検と維持管理を行って

ください。

#### ◎動物が近寄りにくい環境をつくる

田畑の周辺に放置された果実や野菜、集落の中のカキやクリの実、お供え物のお菓子などを適切に管理します。また、森や藪、耕作放棄地、使わなくなった小屋など隠れ家になる場所を少なくします。

#### ◎罠で捕獲する

鳥獣の捕獲にはほとんどの場合、法律に基づいて、狩猟免許や何らかの許可申請が必要です。詳しくは行政の担当窓口にお問い合わせ下さい。

※JAでは電気柵・獣害防止ネットなどの取り扱いをしています。

お問い合わせは、JA各営農経済センターまでお願いします。

